



出穂・開花期の管理

(収量・品質がほぼ決まる重要な時期です！)

1. 赤かび病防除 ～出てしまっちは手遅れです！～

＊ポイント

①防除回数：2回 1回だけでは、確実な防除が困難です！

参考 麦種別の、赤かび病の防除適期

麦種	出穂期	防除適期と出穂期後の日数																					
		+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+10	+11	+12	+13	+14	+15	+16	+17	+18	+19	+20		
裸麦						1回目防除										2回目防除							
小麦						1回目防除													2回目防除				

※出穂期＝圃場全体の麦で、40～50%穂が出た時期（ほぼ全て出た時期は「穂揃期」です！）

②防除薬剤 同じ薬剤を繰り返し使わないことが重要です！

1回目防除	散布時の注意		使用上の注意	
	倍率	散布量/10a	収穫前	回数
ワークアップフロアブル	2000倍	60～150L	7日まで	3回以内
シルバキュアフロアブル			14日まで	
トップジンMゾル＊1回のみ	1500倍			

2回目防除	散布時の注意		使用上の注意	
	倍率	散布量/10a	収穫前	回数
ワークアップフロアブル	2000倍	60～150L	7日まで	3回以内
シルバキュアフロアブル				

参考 散布量別の、薬剤使用量

希釈倍率	散布量/10a		
	60L	100L	150L
2000倍	30ml	50ml	75ml
1500倍	40ml	67ml	100ml

※注意 周辺作物に薬剤がかからないよう、防除する際の風向き・風の強さに注意しましょう！

- ・たった1粒の赤かび混入が、生産物の価値を失わせます。適期に適切な防除を徹底し、赤かび病の発生を防止しましょう！

2. (高タンパク小麦限定) 実肥を忘れずに ～高品質＝高タンパク化～

＊ポイント

①成分量：窒素のみ6kg/10a

②施用法等：下記（赤かび病防除と同時施用は原則2回実施）

施用法	肥料名	施用量/10a	回数	時期
施肥のみ	硫安 (N:21%)	30kg	1回	出穂期～10日後
	尿素 (N:46%)	13kg		
赤かび病防除と同時	尿素 (N:46%)	6.5kg	2回	1回目・2回目防除期

※赤かび病防除と同時に行う場合は、所定量の尿素を溶液と混用散布

＊赤かび病防除と同時散布により葉焼けが生じますが、収量・品質に影響しません。

- ・排水対策の徹底による湿害防止も引き続き重要です。収穫作業の効率化にもつながるため、引き続き排水溝の整備・補修を行いましょう。

お問い合わせ先：大分県中部振興局 集落営農・農地活用班 電話097-506-5791
大分県農業協同組合〇〇部事業部 電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇